



(参考仮訳)

プレスリリース No.14/521

即時解禁

2014年11月16日

国際通貨基金 (IMF)

米国・ワシントン DC

クリスティーヌ・ラガルド IMF 専務理事、 G20 の成長戦略を歓迎するとともに、その実施が不可欠と指摘

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は本日、オーストラリア・ブリスベンで開かれていた主要 20 カ国・地域 (G20) サミットの閉幕にあたり、以下の声明を発表した。

「今年は G20 にとり極めて実りの多い 1 年だった。トニー・アボット首相、ジョー・ホッキー財務相、及びオーストラリア準備銀行グレン・スティーブンス総裁をはじめとするオーストラリア当局の歓待に感謝する。また、当局の効果的なリーダーシップにより、有意義な議論が行われ『ブリスベン行動計画』という実践的な結果を導き出すに至った。これに敬意を表する。来年も議長国であるトルコのもと、対話が継続されることを期待している。

すべての国による断固たる政策措置が、強固で持続可能な均衡ある包摂的な成長を実現し、必要な雇用を創出するうえで重要である。我々の推計で 2018 年までに G20 全体の GDP を少なくとも 2.1% 引き上げるための成長戦略を実施するという、G20 参加国・地域の決意を心より歓迎する。これは、世界経済に大きな利益をもたらす称賛に値する取り組みである。現時点において、IMF が支援する進捗をモニタリングするための強力な説明責任の枠組みを伴った実施が不可欠である。

また、G20 は成長に資すると考えられるいくつかの重要な分野にも注目した。「グローバル・インフラストラクチャー・ハブ」のオーストラリア設立を含め、インフラ投資の面で前進した。IMF は G20 のこの重要な作業分野に今後も貢献していく。同時に、貿易体制の強化に取り組むとした G20 の意思を心強く感じた。貿易は、世界の政策課題のなかでも重要な位置を占めるものであり、統合を一層進めることでより大きなプラスがもたらされる可能性が大いにある。同様に、金融規制と国際課税の面でも、G20 は大きく前進した。

さらに、労働市場の参加で 2025 年までに男女間の格差を 25% 減少させることで G20 が合意したことを心より歓迎する。これにより、新たに 1 億人の女性が労働力

となるのみならず、世界成長が大幅に増大し、貧困と格差が削減されることになろう。

以上に加え **G20** は、エボラ出血熱の最も大きな被害を受けている国々対し、**IMF** が我々の全てのパートナー及びドナーと協力し進めている、債務救済を含めた支援強化のための取り組みを支持した。

最後に **G20** は、**IMF** の 2010 年のクォータ（出資割当額）及びガバナンス改革を早急に実施するよう我々の全加盟国に促したが、私はこれに強く同意する」